

支所だより

各総合支所管内での身近な出来事や話題などを毎月お知らせするコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

「大きくはばたけ子どもたち！」

今回は、誇れる郷土文化と青少年健全育成を中心にまちづくりに取り組んでいる「アトリエしまなみ（代表 近藤哲夫氏）」の活動をご紹介します。

平成11年5月、しまなみ海道開通を機に地域の魅力を再発見し、文化を通して郷土愛を高め、よりよいまちづくりをめざし「アトリエしまなみ」は出発しました。

尾道で青春時代を過ごした作家林芙美子と実父（宮田麻太郎：旧東予市出身）の人間像にせまり、多くの人に伝えるために演劇「流転の人」を丹原、今治で上演し、父側から娘を見つめ直すという新しい切口に好評を博しました。

介護施設「まほろば」では、林芙美子に関する書物や遺品の常設展示や尾道で活動をしている「あじさい会」による詩の朗読会を開催しています。（今秋には、東予地域文

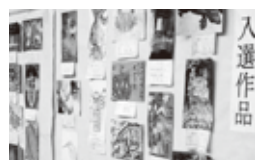
化祭に資料展示で参加予定）

また、平成13年からは、市内小・中・高校生を対象に、郷土の先哲や名物などをイラストや詩等で表現した葉書サイズの作品を募集し「小さな作品展」を開催しています。今年は2500余点の素晴らしい作品が揃い、6月に中央公民館で開催しました。

「小さな作品展を続けていくことで子どもたちや地域の人たちの中に深まりがでてくる。何事も中途半端ではなく本気でやれば何でもできる。本気で取り組むことの素晴らしさを子どもたちに伝えたい。そして全国にはばたいていける子どもたちになってほしい」と代表の近藤哲夫さんは、熱く語ってくれました。



常設展示



力作の数々

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

身近な歴史の宝庫を再発見

市が作成した「新西条市のいいところ いいもの さがし」の冊子に市内各地域の自然や歴史・文化に裏打ちされた貴重な資源や財産が紹介されました。丹原総合支所管内の「いいところ・いいもの」も多数紹介されています。

管内の中川地域では、豊かな自然に恵まれ古くから文化が栄え「いいところいいものさがし」にも多数取り上げられたふるさと中川の歴史について、もう一度見直してみようという機運が高まり、先般、中川公民館事業として「郷土を見直す会」が3回コースで開催されました。

中川地区は、昔の石経村・関屋村・来見村・湯谷口村・志川村・寺尾村・明穂村の7つの集落からなっており、講座の資料には、古墳時代からの丹原町関係の歴史年表や文化財の位置図、安養寺の古記録、昭和初期の町並み図など

貴重な資料が分かり易く紹介されています。

身近なところに残されている文化財について、講師の玉井渡先生から詳しい説明を聞き、30名余りの参加者からは「こんなところにこんな貴重な文化財があったのか」「後世にも伝えていかないかなあ」などの声があがり、改めて郷土の歴史を再認識し、文化財保護の大切さを実感する良い機会となりました。



郷土を見直す会で講演する玉井先生

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

養正ヶ丘で学び百年

小松高等学校のある養正ヶ丘は格蔵山かくぞうざんと呼ばれ、付近一帯からは弥生時代から古墳時代の土器・石器が多く出土し、古代から住みよい環境であったことがうかがえます。

学校の北側には、江戸時代の小松藩校「養正館」の儒官近藤篤山一族の墓所と、陸軍中将の黒川通軌の墓所、また小松高校の前身である子安中学校の創始者・山岡瑞円師頌徳碑、幕末勤皇の志士である田岡俊三郎の表忠碑もあります。

このように歴史的に重要で、郷土の先駆者である文人と武人が眠る格蔵山が教育の理想の地であるとして、昭和16年に「私立子安中学校」が創設されました。戦後の学制改正で、昭和23年に「子安中学校」と「小松実用女学校」が合併し「愛媛県立子安高等学校」となり、翌年、「愛媛県

立小松高等学校」へ改称されて現在に至っています。

その小松高校が今年100周年を迎え、11月1日には「積微百年 咲き誇れ小松魂」の記念テーマのもと、記念式典と記念講演（非公開）が行われます。記念講演では、同校卒業生である関西アウトドアズ・スクール校長の二名（ふたな）良日（よしひ）氏とテノール歌手・秋川（あきかわ）雅史（まさふみ）氏が後輩へのメッセージを送る予定となっています。また、11月2日には記念文化祭（一般公開）が行われます。



養正ヶ丘と小松高等学校